

平成30年 第3回 北海道議会定例会 予算特別委員会〔知事総括質疑〕開催状況

開催年月日 平成30年10月5日(金)  
 質問者 日本共産党 佐野 弘美 委員  
 答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>一 地域防災と避難所の環境改善等について</b>  <b>(一) 被災地を視察して知事の認識について</b>                      発災後、初めて、むかわ町に出向き、被災した3町を廻られた知事のお気持ちを、まず、伺います。</p> <p><b>(二) 初動対応と災害の検証について</b>                      復旧復興に全力とのご答弁でありましたが、今回の震災、大停電では、2016年の大雨災害の検証が活かされ、ただちに災害対策本部を設置し、本庁に指揮室を立ち上げ、関係者が一堂に集まり、人命救助第一に、また、被害状況の把握の進行に伴って、救助の指示や情報発信がなされたと分科会で答弁されました。                      本部長たる知事の初動は、停電の公邸の中での待機ではなく、非常用電源が起動して情報収集できる指揮室に登庁し、陣頭指揮を執るべきだったなど課題はあると考えるところですが、議会での指摘も踏まえ、知事は検証委員会での検証にどのような姿勢でむかうおつもりか伺います。</p>	<p><b>(知事)</b>                      被災地の視察などについてであります。この度の地震では、私自身、9月7日及び9日に、厚真町、安平町、むかわ町における山腹崩壊など、被害状況をヘリにより上空から視察したほか、16日には、厚真町を訪れるとともに、発災後、まもなく1ヶ月となる一昨日は、3町に赴き、改めて復旧の状況を視察するとともに、町長から要望をお伺いするなど意見交換を行ったところであります。                      私といたしましては、余震が続く中、被災された方々が、一日も早く日常生活を取り戻すことができるよう、きめ細やかな支援に努めるとともに、道民生活や経済活動に欠かすことのできないライフラインの復旧や産業被害からの復興に向け、関係機関と一体となって、全力で取り組んでまいります。</p> <p><b>(知事)</b>                      この度の災害対応に係る検証についてであります。この度の地震では、発災後直ちに、災害対策本部を設置するとともに、私から被害状況をしっかり把握し、人命最優先に的確な応急対策を講じるよう指示をいたしましたところであります。                      本庁に設置した災害対策本部指揮室において、各班ごとに被害状況の確認を行うとともに、その状況の報告を受け、私から必要な指示をしたところであり、道としての的確な応急対策がとられたものと考えております。こうした一連の対応については、外部の有識者や防災関係機関等で構成し、11月上旬に設置をする検証委員会において、しっかりと検証してまいります。</p>